

地 域 戦 略 推 進 状 況 (案)

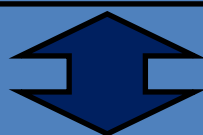
H 2 8 年 度

北海道創生総合戦略

重点戦略プロジェクト



基 本 戦 略



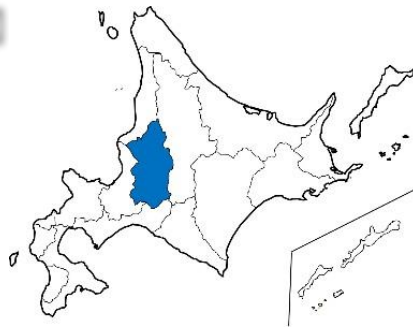
地 域 戦 略



本資料における重要業績評価指標（K P I）の進捗率について

- 数値の増加をめざす指標の進捗率は、実績値（a）を目標値（b）で除した割合としています。
- 数値の減少をめざす指標の進捗率は次のとおり記載しています。（名称欄に（※）がある指標）
 - ・目標値（b）を実績値（a）で除した割合としています。
 - ・実績値が戦略策定時の数値を上回っている場合の進捗率は「0%」と表記しています。
- 統計調査が未公表であるなどの理由から、直近の実績値が捕捉できないものは、「-」と表記しています。

【空知地域】



主な施策と取組状況

■米どころ空知の農業と関連産業の振興

- 地元農産物を利用した学校給食メニュー開発等を行い、地産地消の拡大・農産物の販路拡大等をめざす「北空知圏地場産農産物等利活用推進協議会」を設立（H27.12）
- 障がいのある方が農業に就労出来る仕組み作りと農業現場でのテスト就労の実施
- 海外輸出のノウハウを持つ人材の確保や海外テスト販売等による加工食品の輸出促進
- ワイン造りの産地基盤確立を図るため、土地や気象等のデータ分析に基づく適切な栽培方法や適正品種の検討

■地域の特性を活かした企業等の誘致とものづくり人材の確保・定着の促進

- 地下の石炭層に含まれる炭層メタンガス（C B M）の実用化に向けた試掘事業の実施
- 高校生と保護者に地元企業を知ってもらい、働く意義を考える機会を提供することで、労働者の確保や定着を図る「ジョブスタート事業」の実施

■安心して住み良い暮らしのできる地域の形成促進

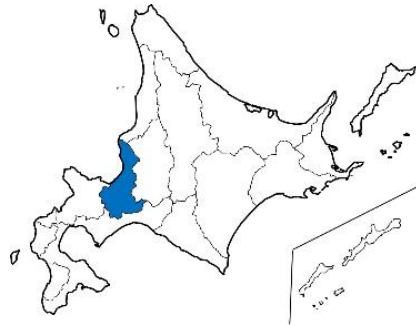
- コミュニティバスやデマンド交通等による交通弱者の移動手段の確保
- 首都圏での移住フェアなどにおけるプロモーションの実施や、HP等を活用した「仕事」「住宅」「子育て」などの情報発信

■炭鉱（やま）の記憶やワインなどの地域資源を活用した多様なタイプの交流の促進

- 炭・鉄・港の産業遺産を活用した取組を学ぶフォーラムの開催（H28.10）
- 北空知・中空知の観光PR及びサイクルツーリズムの推進を図ることを目的とした「北海道スイーツライド in 北&中そらち」の開催（H28.9）

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
新規就農者数	95人 (H26)	82人 (H27)	100人 (H31)	82.0%
体験移住事業（ちょっと暮らし）の利用者数	257人 (H26)	220人 (H27)	300人 (H31)	73.3%
管内への観光入込客数	1,165万人 (H26)	1,171万人 (H27)	1,200万人 (H31)	97.6%

【石狩地域】



主な施策と取組状況

■若い世代の結婚・子育てに関するポジティブ・マインドの形成など少子化対策の加速

- Facebook ページ「いしかりママ★パパ」の立ち上げによる結婚、妊娠、出産、子育て支援やワークライフバランスに関する情報発信
- 大学生が発想・企画した少子化対策に関する事業を連携、共同で実施
- 男女が共に働きやすい職場環境づくりを促すための企業訪問の実施

■若者の地元定着促進と首都圏からの新しい人の流れの創出

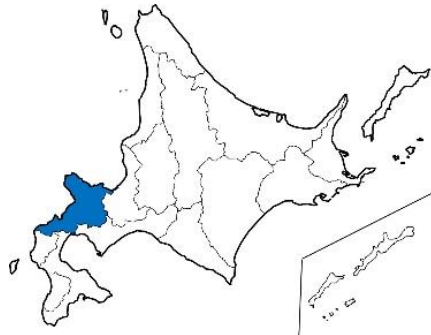
- 若年層の流出抑制、東京圏からの人材還流促進のためのモデル事業の実施と、関係機関からなる「札幌圏地元定住促進協議会」における検証
- 「管内大学生と地元企業若手職員との交流会」等の実施及び首都圏在住の大学生を対象とした就業に関する意識調査の実施
- 東京において管内市町等と合同の札幌圏移住相談会を開催

■都市と自然とが共存する石狩観光スタイルのグローバルな展開

- 「ようこそいしかり」誘客促進事業を実施し、バンコク市内における現地プロモーションへのブース出展、タイ旅行会社・メディアの招聘などの実施
- Facebook を活用した食と観光の「旬」情報の発信やパンフレット等 PR 資材の作成

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
子育てを応援する企業 (あったかファミリー 応援企業登録) 数	46社 (H26)	48社 (H27)	100社 (H31)	48.0%
管内若年(15~29歳) 男性の首都圏への転出 超過数(※)	1,535人 (H25)	1,714人 (H27)	850人 (H31)	0%
管内への観光入込客数	2,330万人 (H26)	2,450万人 (H27)	3,000万人 (H31)	81.7%

【後志地域】



主な施策と取組状況

■農林水産業の持続的発展やブランド化の推進

- 後志管内指導農業士・農業士会研修会の開催
- 農業の生産拡大に向けた栽培拡大マニュアルの作成
- 輸出支援セミナーや貿易に関する個別相談会の実施による特産品の磨き上げ

■多彩な地域資源を活用した国際観光リゾートエリアの形成

- 「酒と肴と旅」プロジェクトの展開やスポーツツーリズムによる誘客促進
- 後志観光連盟が行う新幹線開業に伴う管内市町村の観光地域づくりの取組への支援
- ビジットジャパン事業などと連携した海外旅行エージェントに対するPR活動

■人口減少社会に対応した活力あるまち・ひと・しごとづくりの推進

- 固定資産税通知によるしりべし空き家BANKの利用促進（11町村）
- 冬季にリゾートで働く若者と夏期に人手不足となっている業種をマッチングするために、マッチング・コンシェルジュの配置や、ハローワークやJA等との連携による就業希望者への面接会を実施
- Shiribeshi グローバル人材育成プラン自主活動チームの発足

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
特産農産物（塩トマトなど）生産農家戸数	8戸 (H26)	8戸 (H27)	30戸 (H31)	26.7%
管内への観光入込客数	2,100万人 (H26)	2,300万人 (H27)	2,500万人 (H31)	92.0%
空き家BANK成約件数	41件 (H26)	55件 (H27)	90件 (H31)	61.1%

【胆振地域】



主な施策と取組状況

■地球誕生と文化の変遷を体感できる地域資源の磨き上げ・発信

- PRイベントなどによる胆振三大遺産の魅力発信を実施するほか、道内・道外・海外プロモーションを実施
- 「北海道ジオパーク探検スタンプラリー2016」(H28.7~12)の実施

■新鮮・多品種な食材の共演による「胆振フルコース」の展開

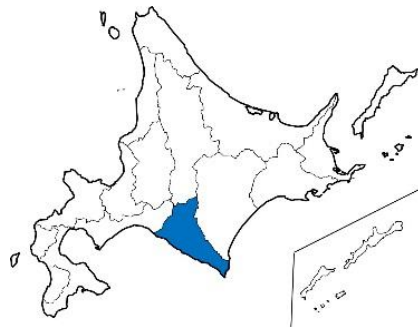
- 胆振管内の隠れた良品を地元を始めとする道内消費者に紹介するため、地域イベントと共催で、「いぶりマルシェ」を開催(3回)
- 新規就農希望者へ農業技術や経営手法を指導する、担い手育成活動等を実施
- 農業の経営規模拡大に伴う労働力不足対策として、GPSガイダンスシステムの導入を検討(H28.5むかわ町、H28.8洞爺湖町、H29.2予定 苫小牧市)

■世界の課題に応える産業拠点の形成促進と雇用の創出

- 道内外の中小企業、大学、産業支援機関等が一堂に会する、ものづくり分野の展示会「北洋銀行ものづくりテクノフェア2016」(H28.7.21札幌市)に出展
- メッセナゴヤ(H28.10.26~29名古屋市)に出展し、管内市町と連携して、企業立地等に向けたPRを実施
- 「ものづくりなでしこ応援プロジェクト」の一環として、管内高校生、保護者、教職員、が参加する職場見学ツアー(H28.3.17室蘭市)を実施

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
管内への観光入込客数	1,500万人 (H25)	1,700万人 (H27)	1,860万人 (H32)	91.4%
宿泊延べ客数(外国人)	61万人 (H25)	97万人 (H27)	155万人 (H32)	62.6%
食品工業の付加価値額	184億円 (H25)	202億円 (H26)	190億円 (H31)	106.3%
製造業の付加価値生産性	1,332万円 (H25)	888万円 (H26)	1,850万円 (H30)	48.0%
従業員数4~29人の事業所における常用雇用者数	4,900人 (H25)	4,839人 (H27)	5,500人 (H31)	88.0%

【日高地域】



主な施策と取組状況

■「ひだか」地域を支える農林水産業の振興

- 新規就農者説明会等への支援及び新規就農者受入に係る情報・意見交換会の実施
- 日高管内コンブ生産安定対策会議の開催及びモデル地区による協業化実証実験の実施
- 「ひだか6次産業化推進協議会」（仮称）の設立準備やブランド品の単価向上の取組
- 軽種馬生産振興に向けた「軽種馬生産構造改革推進会議」の開催

■地域特性を活かした「ひだか」観光の展開

- 首都圏や道内イベントでの日高特産品の販路拡大や観光PRの実施
- 東京23区との連携交流（人的交流、日高の魅力発信等の連携）に向けた取組

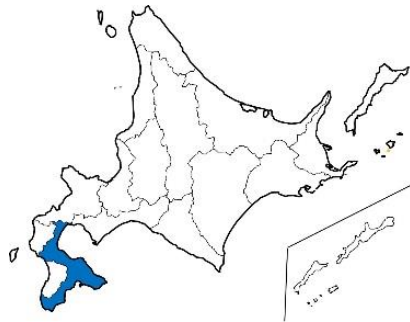
■誰もが住み続けたいと思える「ひだか」地域づくり

- 都市圏から「ひだか」管内に移住・定住者を呼び込むため、管内自治体等の連携により Facebook「日高暮らしナビ ひだかっていいね！」を運用
- 障がいのある方の地域での暮らしづらさを解消するため、「日高圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」を開催
- 「日高管内空き屋対策等連絡調整会議」の開催、空家等対策の推進に関する特措法に伴う技術的支援

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
新規就農者数	15人 (H25)	19人 (H27)	20人 (H31)	95.0%
モデル地区における新たな生産体制によるコンブ漁獲量	—	1.9t (H27)	年間当たり5トンの増加	7.6% (注)
管内への観光入込客数	160万人 (H26)	170万人 (H27)	210万人 (H31)	81.0%

(注) 年間当たり5トンの増加×5年間（戦略推進期間）＝25トンの増加を目標値（b）とした進捗率

【渡島地域】



主な施策と取組状況

■北海道新幹線開業効果を最大限に発揮した交流人口の拡大

- 来道者増加へ向けた北海道新幹線の認知度向上を図るための開業後PRを実施（東京（H28.9）、仙台（H28.10）、北関東（時期未定））
- 教育旅行雑誌の編集者や教育旅行関係者を対象に、函館、七飯、青森などを周遊する教育旅行の誘致に向けた青函周遊モニターツアーの実施（H28.4、H28.9）
- 世界遺産登録を見据えた縄文の魅力発信（巡回パネル展 計7回予定）、大船遺跡や鷲ノ木遺跡などの管内遺跡見学やミニチュア土器作りを体験するツアーの実施（H28.7）
- スポーツ合宿誘致を図る市町への支援（専門家招聘による合宿誘致検討会の実施（H28.7））

■渡島の魅力を活かした生活・定住環境づくりの推進

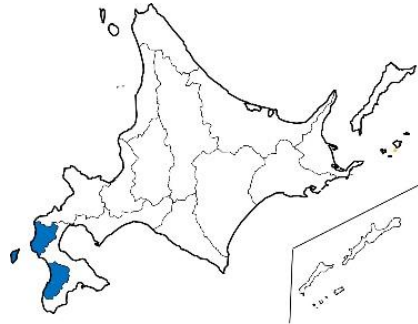
- 介護・福祉就業体験モニターの募集（HPによる周知、道外イベント等でのチラシの配布及び養成機関への訪問）
- 渡島総合振興局移住・定住推進連絡協議会を開催し、情報提供や意見交換を実施（H28.11予定）

■渡島を支える農林水産業の振興と6次産業化への取組強化

- 道南地域食の展示見本市を開催（「第6回世界料理学会 inHAKODATE」と連携）（H28.9）
- 「農商工連携・6次産業化セミナー&移動食品加工研究センターin函館」の開催（H28.8）
- 丸井今井函館店（計10回予定）、イトーヨーカドー函館店（毎月開催）と連携した物産フェア開催
- 道南スギをはじめとする地域材の利用促進（地元学生向けのオープンスクール（H28.6～8））
- 高校生を対象にコンブ加工場見学等の漁業体験学習を実施（H28.8～9）
- 「渡島スマートアグリ研究会」の運営、「実証試験」の実施（北斗市、今後、木古内町・八雲町予定）

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
管内への観光入込客数	1,062万人 (H26)	1,093万人 (H27)	1,280万人 (H31)	85.4%
管内におけるスポーツ合宿実施件数	265件 (H26)	283件 (H27)	290件 (H31)	97.6%
管内のちょっと暮らしの利用者数	61人 (H26)	110人 (H27)	100人 (H31)	110.0%
管内の農林水産業新規就業者数	96人 (H26)	99人 (H27)	110人 (H31)	90.0%

【檜山地域】



主な施策と取組状況

■「日本海漁業振興基本方針」に基づく漁業の活性化など農林水産業の振興

- 日本海漁業振興緊急対策事業などによるウニ、ナマコ等の養殖実証試験への支援
- ニシン100万尾放流の実施
- 道南スギ等の地域材需要拡大に向けて建築関係者を交えた検討会を開催するほか、PRパンフレットを作成
- ハウス立茎アスパラガスの低収要因の解明及び栽培改善に係る現地調査の実施

■安全で快適に暮らすことのできる地域社会の形成

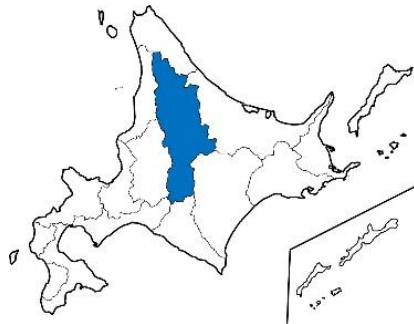
- 看護師確保・定着に向けた「めざせ看護師！檜山塾」の実施
- 「ひやまSHOWがいウィーク」の開催（障がい者就労支援事業所の展示・販売、檜山圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会の開催、パネル展示など）

■歴史・文化・食・自然を活かした交流人口の拡大

- 新幹線開業効果を活かした東京都特別区との交流連携事業の実施（大田区における「ひやま食と観光フェア」開催など）
- 振興局と町の協働による障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャー事業の実施

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
新たに養殖に取り組む漁業者数	—	11人 (H27)	30人 (H31)	36.7%
自主防災組織の組織率	48% (H26)	55% (H27)	51% (H31)	107.8%
管内への観光入込客数	100万人 (H26)	102万人 (H27)	120万人 (H31)	85.0%

【上川地域】



主な施策と取組状況

■天塩川や大雪山など魅力ある地域資源を活かした上川地域への来訪促進

- 地域の方へ天塩川の魅力などを再認識してもらい、天塩川愛の醸成を図るため、地域において「ワークショップ」や「フォーラム」を開催
- 大雪山の写真提供やブログ等による情報発信を行う「大雪カムイミンタラPRサポーター」制度の創設や、大雪山自然観察会や登山道補修セミナーの開催による魅力向上に向けた取組を推進

■「上川百万石」の米や野菜、森林など地域の強みを活かした農林業の振興

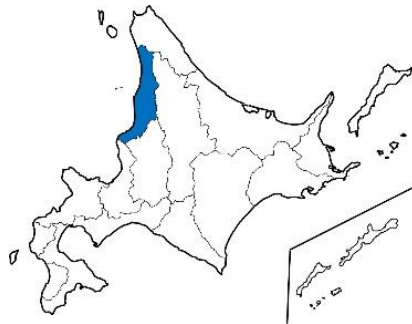
- 今後の人口減少に対応した持続可能な農業を確立するため、地域農業のさらなる省力化・高収益化に向けた取組を推進（9地区）
- 有機農業技術の普及促進や消費者への理解促進に向けた取組（各種農業イベントによるPRの実施（2回）、現地検討会の開催）
- 地域の林業・林産業関係者と学識経験者による協議会の開催、広葉樹資源の持続的利用サイクルを確立するための調査等を実施

■人口減少社会を見据えた地域産業の担い手・後継者の確保・育成

- 新規就農者等を対象に、生産技術や経営管理等の知識習得に向けた研修会を実施
- 高校生に農業及び就農への関心を深めてもらうため、先進的農家視察や農業講演会等を実施。高校生に林業への関心を深めてもらうため林業学習会を実施

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
管内への観光入込客数	1,862万人 (H26)	1,946万人 (H27)	2,000万人 (H31)	97.3%
省力化による作物作付面積の維持	79,213ha (H25)	79,387ha (H26)	79,000ha (H31)	100.5%
上川管内の木材・木製品出荷額	17,369百万円 (H25)	21,068百万円 (H26)	20,360百万円 (H31)	103.5%
地域産業（農業・林業）への新規就労者数	農業 124人 (H25)	130人 (H27)	150人 (H31)	86.7%
	林業 36人 (H25)	28人 (H27)	40人 (H31)	70.0%

【留萌地域】



主な施策と取組状況

■南北に細長く自然条件に応じて展開される多彩な農林水産業の振興と雇用の創出

- 水稲栽培の労働力低減・低コスト栽培のための試験栽培（5カ所）や、硬質小麦（ルルロッソ）の産地化を推進（実証展示圃2カ所設置）
- エディブルフラワー（食用花）の生産体制強化と販売技術の検証（H27:360パック出荷）
- 韓国へのトドマツ輸出に向けた連携（H28 輸出货量：約2,300立方メートル（計画））

■札幌圏や旭川圏からのアクセスの良さを活かした日本海オロロンラインへの交流人口の拡大

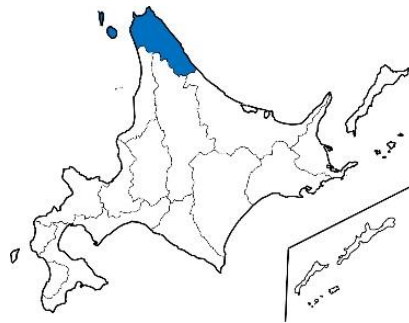
- 天売島を中心とした観光ルートの商品化に向け、モニターツアー実施（H28.11）
- 大雪・富良野ルート、天塩川ミュージアムパークウェイ、萌える天北オロロンルート、宗谷シーニックバイウェイの各関係団体との連携により広域周遊の推進（「日本のでっぺん。きた北海道ルート。」H28.6認定）
- 本道への外国人観光客を留萌地域に呼び込むため、管内の歴史などの観光資源を掘り起こし・組み合わせた広域観光周遊ルートを形成するとともに、多言語による情報を一体的に発信（広域周遊ルートガイドブックや英語版WEB公開等（H29.1））
- 一般社団法人留萌青年会議所による音楽合宿をはじめ、各市町では、文化・スポーツ合宿の受入を実施（H28.9現在1市3町）。遠別町では、今年度から、町内で文化・スポーツ合宿を実施する団体に対する費用の一部を補助する「合宿のふるさと事業」を実施

■留萌地域に住み続けたいと思える生活環境づくり

- 自治体病院等広域化・連携検討会議等を開催し、効率的な医療提供のための連携方策について検討（H27：2回、H28年度内1回予定）
- 管内市町村等との連携による移住パンフレット作成（配付予定数500部）

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
新規就農者数	8人 (H21~25平均)	9人 (H27)	10人 (H31)	90.0%
管内への観光客入込客数	139万人 (H26)	133万人 (H27)	145万人 (H31)	91.7%
管内ちょっと暮らし利用者数	37人 (H26)	30人 (H27)	40人 (H31)	75.0%

【宗谷地域】



主な施策と取組状況

■豊かな土地資源を活かした酪農と海域の特性に応じた栽培漁業の推進

- 酪農地帯らしい食文化を形成するため、酪農家の女性を対象に乳加工に係るセミナーを開催（H28.5）
- 食クラスター「フード塾」宗谷地域検討会（H28.10）及び巡回アドバイス（H28.10, H29.2 予定）
- 「宗谷新規就農支援ネットワーク」を活用し、関係機関一体となった広域的な受入体制の整備

■手つかずの大自然とひとの魅力を活かした移住・定住の推進

- 地域の「ひと」や「しごと」の魅力を再発見し、高校生の地元での就職や将来のUターンにつなげる「宗谷ひと図鑑」事業の実施
- 市町村等との連携を目的とした移住・定住促進連絡会議の開催（H28.10, H29.2 予定）
- レブンアツモリソウなどの希少な高山植物を守るため、礼文町を訪れる観光客に対し、盗掘防止を呼びかけるリーフレット等を配布するほか、監視パトロールを実施

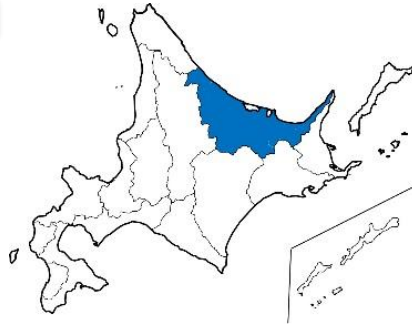
■サハリン州との交流や離島などの地域の特色を活かした観光の促進

- 再開したサハリン航路の利用促進に向けた、官民連携によるプロモーションや国際貿易セミナーの実施（H28.10）
- 利尻町の島の駅「海藻の里・利尻」を拠点として、海藻押し葉を活用した地域文化の体験観光を実施
- 外国人観光客の受入拡大に向け、北宗谷地域をモデルとして、フェリーやバスの乗り放題パスの試験販売を実施し、離島における周遊を促進（H28.7～9）

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
新規就農者数	11人 (H25)	15人 (H27)	16人 (H32)	93.8%
新規漁業就業者数	36人 (H24)	57人 (H27)	40人 (H31)	142.5%
若年層(15～34歳)の人数	11,793人 (H26)	11,370人 (H27)	10,800人 (H31)	98.1% (注)
外国人宿泊客延数	1.3万人 (H25)	1.7万人 (H27)	2.4万人 (H31)	70.8%

(注) 管内の若年層の人口減少率は全道平均を上回って推移していることから、全道平均レベルまで減少を緩和することを目標とするもの。[11,370人÷11,588人(11,793人×98.26%)=98.1%]

【オホーツク地域】



主な施策と取組状況

■国内外への販路拡大などによる農林水産業の強化

- スマート農業技術の導入や作業の外部委託、組織化による省力化等の推進のための普及啓発として、「2016 オホーツク I T・ロボット農業実践セミナー」を開催 (H28. 6)
- 東京で開催される「JapanHome&BuildingShow」に出展し、オホーツク産森林認証材の P R を実施 (H28. 10)
- オホーツク地域の大学と連携した新たなインターンシップ制度の創設 (H28. 8～9)

■豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興

- 地元小麦の消費拡大等を目的に管内の高校や東京農業大学が菓子製造事業者と協働で、「高校生・大学生プロデュース、オホーツクスイーツ開発プロジェクト」を実施 (H28. 11)
- オホーツクフェアの開催により、国内外への販路拡大を推進 (H29. 1)

■人口減少社会を見据えたオホーツク地域への来訪促進

- オホーツクスイーツ等を活用した観光情報の発信 (H28. 9, 10)
- 首都圏 (北海道フェア in 代々木) で、観光事業者等と連携して食と観光の P R を実施 (H28. 9)
- オホーツク・スポーツ合宿総合サイトを通じた情報のワンストップ化の確立 (H28. 4)

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
輸出に取り組む農業者団体数	3 団体 (H 2 5)	3 団体 (H 2 7)	5 団体 (H 3 1)	6 0 . 0 %
サケ E U - H A C C P 取得業者数	1 団体 (H 2 6)	1 団体 (H 2 7)	4 団体 (H 3 1)	2 5 . 0 %
オホーツク産小麦使用の菓子店数	1 4 店 (H 2 6)	3 5 店 (H 2 7)	5 0 店 (H 3 1)	7 0 . 0 %
農水産物を活かしたオホーツク産品の延べ商談件数	—	1 9 件 (H 2 7)	1 8 0 件以上 (H27～H31 までの合計)	1 0 . 6 %
管内への観光入込客数	846.9 万人 (H 2 5)	871.7 万人 (H 2 7)	9 0 0 万人 (H 3 1)	9 6 . 9 %
外国人宿泊者延数	7.9 万人 (H 2 5)	11.9 万人 (H 2 7)	2 0 万人 (H 3 1)	5 9 . 5 %

【十勝地域】



主な施策と取組状況

■「食の総合産業化」の推進による地域産業の振興

- 首都圏のバイヤーを招聘し、地元食関連企業および生産者との個別相談・商談会を開催するほか、招聘したバイヤー等の管内の生産現場訪問を実施(H27. 11、H28. 10 予定)
- 道内外で開催される「食」の展示会・商談会に参加し、国内外のバイヤー等を対象に、十勝製品のPRやマーケティング調査を実施
(H28. 2(東京都・大阪府)、H28. 3 (千葉県)、H28. 6 (札幌市)、H29. 3(千葉県) (予定))

■バイオマス資源の活用や航空・宇宙等に関する実証実験等の誘致

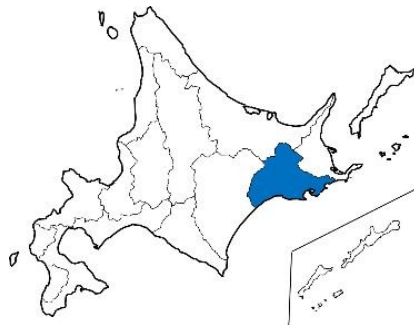
- 航空宇宙に関する研究・実験拠点化に向けた大樹町多目的航空公園の効果的な活用に向けて、十勝地域で研究機関・企業・経済団体等を対象としたセミナーを開催
(H28. 2、H29. 1 (予定))
- GPSを活用したトラクターの自動化、農業へのロボット技術の導入など、地域への導入に対応する取組を推進するため、関係機関・団体による導入推進に向けた検討会やセミナーの開催 (H27 検討会 2 回・セミナー1 回、H28 も開催予定)

■多様な人材の活躍による地域活性化

- 女性の活躍促進に向けた地域の課題について考えるセミナーの開催 (H28. 3) 及び女性ロールモデルの情報発信や女性の活躍に係る総合的なポータルサイト開設(H27 年度)
- 農業や農産物に興味を持つ女性を対象とした魅力発見セミナーを開催(H28. 1)
- アクティブシニアに対する学びのニーズ調査の実施 (H28 年度)
- 十勝管内で実施されている学びのメニュー情報の調査・収集(H28 年度)、当該メニュー情報を発信する Web サイトの開設 (H29. 3 予定)

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
管内への観光入込客数	967 万人 (H25)	1,035 万人 (H27)	1,020 万人 (H31)	101.5%
女性キャリアデザイン ロールモデルの輩出数 (累計)	—	8 件 (H27)	50 件 (H31)	16.0%

【釧路地域】



主な施策と取組状況

■「根釧酪農ビジョン」の実現に向けた具体的取組の展開

- 草地型酪農推進プロジェクト会議の開催（H28. 5～7）
- 農業体験・就業体験ツアーの実施（H28. 11 予定）
- 海外バイヤー等を対象としたモニターツアーの開催（H28. 10）

■北海道横断自動車道（道東道）の釧路延伸を契機とした交流人口の増加に向けた取組の促進

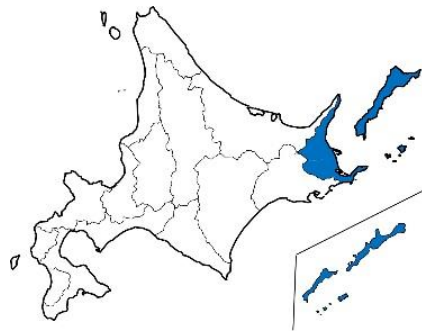
- 「ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」開催（H28. 4、H28. 11、H29. 3 予定）
- 着地型のスタンプ&フォトラリーの実施（H28. 7～9）
- 「北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業」による教育旅行誘致促進に向けたプロモーション（H28. 12 予定）及びヘルスツーリズムの商品化に向けた取組の実施
- 「プライムロードひがし北海道」に係る広域観光ルート形成促進事業による広域観光ルートの形成
- 道東4振興局で合同観光プロモーションの実施（H28. 6：十勝、H28. 9：函館）及び観光パンフレットの作成等

■地域の持続的発展に向けた連携の強化

- 釧路町村会が実施する「地域づくり広域プロジェクト」への参画（新規：2事業、継続：8事業）
- 農業団体によるチャレンジ60「946運動」の展開（新規：1事業、継続：2事業）

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
生乳生産量	517,000 トン (H26)	528,000 トン (H27)	539,000 トン (H31)	98.0%
管内への観光入込客数	672 万人 (H26)	727.5 万人 (H27)	780 万人 (H31)	93.3%
地域内連携事業に係る 新たな事業の創出及び 既存事業の拡充	—	3 事業 (H27)	5 事業以上 (H27～H31 累計)	60.0%

【根室地域】



主な施策と取組状況

■子育て支援の充実など少子高齢社会への対応

- 住民参加型子育てサポート体制づくりモデル事業の実施地域の拡大（7箇所予定）
- 医療系学生のゼミ・研究室・サークル活動の誘致（根室地域における体験学習、施設見学など）
- 札幌医科大学による地域医療交流会（地域と医育大学との連携）

■我が国最大の草資源を活かした酪農や豊かな漁業資源を有する水産業の振興

- 畜産クラスター関連事業の活用による良質な自給飼料の安定確保（1箇所）、生産性の高い酪農経営体の育成（11箇所）、新規就農支援（8箇所）
- 根室さんま直送市開催（H28.9（主催：ねむろ水産物普及推進協議会））
- 衛生管理型漁港の施設整備の推進 5漁港（歯舞、落石、尾岱沼、標津、羅臼）

■世界自然遺産の知床をはじめ地域の魅力を活かした取組による交流人口の拡大

- 知床国立公園に係るインターネットサイト「知床情報玉手箱」を試行的に開設（H28.8）
- 道東インバウンドガイドネットワークの運営
- ロングトレイル広域化検討会議の開催
- 根室地域をフィールドとした大学研究発表会を開催予定（H28.12）
- 移住者を中心として地域で活動する人同士を結びつける場（コミュニティ・プラットフォーム）の形成

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)
子育てサポート体制づくりモデル事業への子育て世帯の参加数	0世帯 (H26)	8世帯 (H27)	30世帯 (H31)	26.7%
管内の生乳生産量	777千トン (H26)	796千トン (H27)	820千トン (H31)	97.1%
観光入込客宿泊客延数	262千人 (H26)	270千人 (H27)	280千人 (H31)	96.4%

